

【試合結果】

第33回北海道中学校バスケットボール新人大会



女子 決勝トーナメント		決勝																
日時	平成30年12月24日 (月)	11:40 ~																
会場	江別市民体育館																	
結果	札幌向陵中 札幌	<table border="0"> <tr><td>21</td><td>—</td><td>12</td></tr> <tr><td>25</td><td>—</td><td>14</td></tr> <tr><td>12</td><td>—</td><td>16</td></tr> <tr><td>22</td><td>—</td><td>18</td></tr> <tr><td colspan="3">OT</td></tr> </table>	21	—	12	25	—	14	12	—	16	22	—	18	OT			札幌新琴似北中 札幌
	21	—	12															
25	—	14																
12	—	16																
22	—	18																
OT																		
審判	主審 五島 義人	副審 小林 晋																

【ボックススコア】

札幌向陵中		札幌						
No.	選手氏名	出場	得点	3P	2P	FT	R	F
4	田村 梨奈	×	18	1	6	3	6	3
5	森岡 ほのか	×	26		11	4	9	2
6	中川 実花子	×	2		1			2
7	長倉 彩夏	×	11		5	1	3	
8	新田 芽生	×	6		3		3	4
9	斉藤 夕凧	/	17	3	4		1	2
10	沢田 倫花	/	0					
11	森川 理梨	DNP	0					
12	片山 空	/	0					
13	小山内 咲	/	0					
14	吉田 萌恵	DNP	0					
15	雨宮 優芽	DNP	0					
16	星澤 ゆりあ	DNP	0					
17	横岡 咲紀	DNP	0					
18	小林 果央	DNP	0					
HC	永井 文明							
合計			80	4	30	8	22	13

札幌新琴似北中		札幌						
No.	選手氏名	出場	得点	3P	2P	FT	R	F
4	小川 愛衣歌	×	17	1	7		4	3
5	最上 葉名	×	22		10	2	7	3
6	遠田 千紗	×	8		2	4	6	
7	川原 綾乃	×	4		1	2	1	3
8	池崎 美音	×	9		4	1	6	4
9	山口 久瑠美	/	0					
10	大内 愛姫	DNP	0					
11	松岡 遥香	DNP	0					
12	久保田 結菜	DNP	0					
13	中西 梨緒	DNP	0					
14	竹村 梨乃	DNP	0					
15	三田村 俐子	DNP	0					
16	澁谷 朱雀	DNP	0					
17	阿部 琥珀	DNP	0					
18	畠山 祐奈	DNP	0					
HC	能戸 史也							
合計			60	1	24	9	24	13

出場 ×:スターター /:途中出場 DNP:出場なし
 得点 3P:3ポイントシュート 2P:2ポイントシュート FT:フリースロー

【戦評】

準決勝で北星女子中学校との走り合いを制した札幌向陵中と、札幌月寒中との息詰まる接戦を制した新琴似北中の、札幌地区同士の決勝戦。両チームとも#4~#8のスターティングメンバーで試合開始。試合開始早々、新琴似北中は、#4小川の左ドライブや3Pで得点を重ねる、対する向陵中は、#4田村、#5森岡を中心に得点を重ねる。残り4分、向陵中#5森岡のリバウンドから#7長倉への速攻でのレイアップが決まり10-5となったところで、新琴似北はタイムアウト。タイムアウト後、#4小川の得点や#5最上のオフェンスリバウンドからのシュートで食い下がり、流れを止める。しかし、1Q終了間際に向陵中#4田村の3Pが入り、すぐに相手ボールをスティールしそのままレイアップ。21-12で向陵中リードで1Qを終える。

2Q、新琴似北中は#8池崎の連続得点で良いスタートを切る。しかし、2Q残り4分、向陵#9斉藤が3Pを決め、#5森岡のスティールからの速攻が決まったところで、新琴似北は、たまたまタイムアウト。しかしその後も向陵中は速攻で得点を重ね、#9斉藤がこのクォーター3本目の3Pを決めて2Q終了。46-26の20点差に点差が広がり前半を終える。

3Q、新琴似北中は、ディフェンスのプレッシャーを強め、相手のミスを誘い、点差を縮めにかかるが、向陵中はすかさずタイムアウトをとり、落ち着いてプレーをさせ、流れを逃さない。新琴似北中は、#5最上のターンシュートなどで残り3分で15点まで点差を縮めるものの、向陵中#5森岡の安定したディフェンスリバウンドからの速攻を止められず、点差をなかなか縮められない。3Qを58-42で向陵リードで終える。

4Q、新琴似北中は#4小川のミドルシュートなどで追いつくものの、向陵中は#5森岡の落ち着いたインサイドプレーで得点を重ねる。最後は80-60で向陵中が勝利したものの、新琴似北中の最後まであきらめず戦う姿勢は南北決勝大会につながるにちがいない。また、#5森岡の攻守にわたる活躍に、周囲がしっかりと合わせた向陵中のバスケットボールが、南北決勝大会で躍動することを確信したゲームであった。